

1. 出題傾向

- ・社会科では第1/3回の試験ともに、各分野（地理/歴史/公民）から出題します。
- ・小学校で学習した内容を中心に出题します。また新聞やニュースで話題になった時事問題等も出題します。
- ・与えられた情報や文章を読み取って答える問題も出題します。

2. 問題構成

- ・社会の試験は、30分間で50点満点です。

□「一問一答タイプ」の問題について

- ・基本的な知識を問う問題は、一問一答形式で10問程度です。内容は地理/歴史/公民から出題します。教科書や資料集に載っている事柄が中心となります。
- ・「漢字で答えなさい」という指示のある問題があります。その場合、漢字で答えられなければ不正解とします。
- ・漢字で答える問題は、用語、人物名等社会科の中で使われる言葉を中心に指定しています。

一問一答タイプの問題例

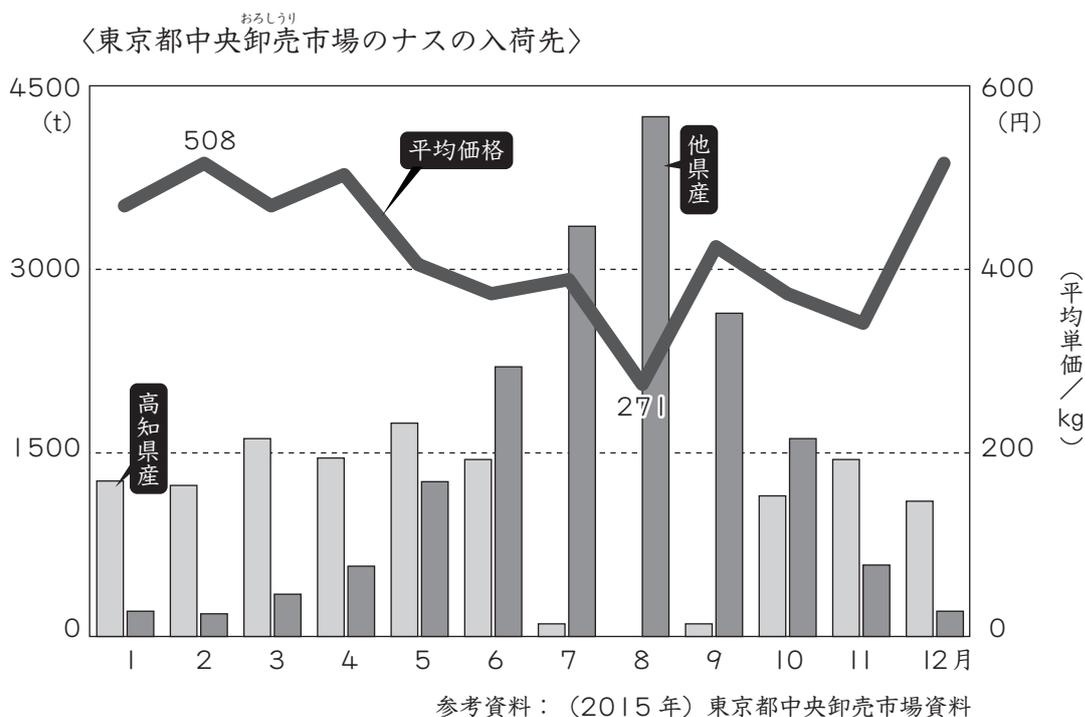
- 江戸時代、庶民しよみんの子どもたちに「読み・書き・そろばん」など、日常生活や商品の取り引きに必要なことを教えた施設しせつを何とといいますか。漢字で答えなさい。
- 日本のまわりを流れている暖流は対馬海流と何ですか。次の中から記号で1つ選びなさい。
 (ア) リマン海流 (イ) 日本海流 (ウ) 千島海流 (エ) 親潮
- 発展途上国の農産物や雑貨などを、適正な価格で継続的に輸入・消費する取り組みを何とといいますか。次の中から記号で1つ選びなさい。
 (ア) クーリングオフ (イ) コンプライアンス
 (ウ) サプライチェーン (エ) フェアトレード
- 国際連合の一部で、世界保健機関りやくしやうの略称は何ですか。次の中から記号で1つ選びなさい。
 (ア) WHO (イ) UNESCO (ウ) IMF (エ) UNICEF

□ 「大設問タイプ」の問題について

- ・大設問を2題出題します。内容は、地理／歴史／公民から出題します。
- ・問題によっては、1つの問題で地理的なことと歴史的なことをあわせて問う場合もあります。
- ・地図やグラフ等を読み取る問題もあります。地図では、都道府県名、都道府県庁所在地名、都道府県の形等、基本的な用語や地名、地域の特色等を問います。気温図をはじめ、棒グラフや折れ線グラフ等を読み取れるようにしておきましょう。
- ・文章を読んで答える問題もあります。その場合、しっかりと文章を読み取ることが大切です。文中に答えが潜んでいることもあります。内容が難しくても諦めずに取り組みましょう。
- ・表やグラフ、図や絵、写真等を使って出題している場合もありますので、用語や言葉だけで理解するのではなく、図や絵、写真等とも結びつけて考えられるとよいでしょう。
- ・大設問の答え方として、数や記号で答えるもの、単語で答えるもの、文章で答えるもの等があります。

大設問タイプの問題例

- 1 高知県では、なぜ冬に夏野菜をつくっているのでしょうか。次の資料を参考に、考えられることを説明しなさい。



2 各問いに答えなさい。

(1) SDGs は日本語で何といいますか。解答欄^{らん}にあてはまるように漢字で答えなさい。

(2) あなたが小学生のときに行った SDGs の取り組みを答えなさい。

3 資料を見て、各問いに答えなさい。

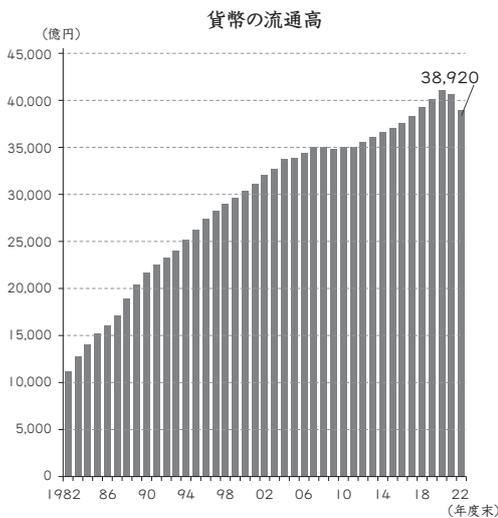
資料1 <1円硬貨の製造枚数> (単位:千枚) ※単位千枚以下の^{はすう}端数は四捨五入とします

製造年	製造枚数	製造年	製造枚数	製造年	製造枚数
1989	2,483,070	2001	8,024	2013	554
1990	2,768,953	2002	9,667	2014	124,013
1991	2,301,120	2003	117,406	2015	82,004
1992	1,299,130	2004	52,903	2016	574
1993	1,261,240	2005	30,029	2017	477
1994	1,040,767	2006	129,594	2018	440
1995	1,041,874	2007	223,904	2019	1,068
1996	942,213	2008	134,811	2020	528
1997	783,086	2009	48,003	2021	845
1998	452,612	2010	7,905	2022	574
1999	67,120	2011	456	2023	463
2000	12,026	2012	659		

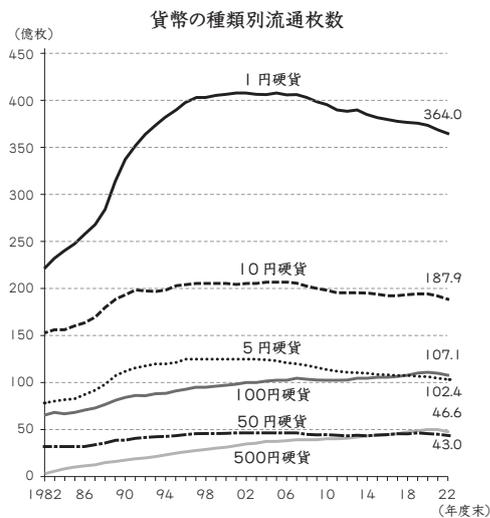
(注1) 1989年の製造枚数は、昭和64年と平成元年を合計した数
 (注2) 2019年の製造枚数は、平成31年と令和元年を合計した数

参考資料: 独立行政法人造幣局「年別貨幣製造枚数」

資料2 <貨幣の流通高と種類別流通枚数>



(注)「貨幣の流通高」は、500円硬貨から1円硬貨までの計6貨種の合計金額。
 記念貨幣を含まない。
 (出所)日本銀行「通貨流通高統計」



「我が国の通貨と決済を巡る現状」
 (財務省)を加工して作成

- (1) 1989年からの3年間に製造枚数が多かった理由の一つとして、1989年にある税が導入されたことがあげられます。その税の名前を漢字で答えなさい。
- (2) 資料の内容を読み取ったものとして正しいものに○、まちがっているものに×をつけて答えなさい。
 - (ア) 1円硬貨の製造枚数が20億枚を下回ったのは、1992年以降である。
 - (イ) 1円硬貨の製造枚数が最も少ない年は1982年である。
 - (ウ) 1982年以降、10円硬貨は50円硬貨の3倍以上流通している。

3. 解答分析

- 「一問一答タイプ」の問題では、日頃の学習がしっかりできている様子がかがえました。一方で、答えがわかっているにもかかわらず、歴史上の人物や出来事等、漢字を間違えていることもありました。正確に覚えるようにしましょう。
- 「大設問タイプ」の問題では、問題をしっかり読めると正答率が上がっていきます。文章中にもヒントが載っている場合がありますので、丁寧に問題文や資料、グラフ等を読み取りましょう。

4. 学習アドバイス

□ 「一問一答タイプ」の問題について

- 教科書や資料集等学校で日頃学んでいる内容が中心となります。学校で学んだことをしっかり復習しておくといよいでしょう。解答は正しく漢字で書けるようにしておきましょう。

□ 「大設問タイプ」の問題について

- まずはしっかり問題文を読みましょう。そして文章や資料、グラフ等を読み取ったり関連づけて考えたりできるようにしておきましょう。
- 話題となったニュース、地球規模の出来事や問題等にも目を向けておきましょう。日頃から時事問題に関心を向ける習慣を身に付けておくことが大切です。
- 初めて見る問題でも、一つひとつ丁寧に読むことにより答えが見つかることもあります。丁寧に問題文を読みましょう。
- 記述問題では、正解に至らなくても部分点をつけることがあります。また、文中に漢字の間違いがあった場合でも、全体の文脈から判断して文意が伝われば正解とする場合もあります。まず、出題者がどのような答えを求めているのかをしっかりと掴み、解答しましょう。